

第 62 回 道徳教育研究会（東濃会場）ご案内

テーマ「道徳教育の充実をめざして」

主 催 公益財団法人 モラロジー道徳教育財団
主 管 岐阜県東濃モラロジー協議会
共 催 岐阜県教育者モラロジー研究会
後 援 文部科学省
岐阜県教育委員会
土岐市・土岐市教育委員会・多治見市教育委員会・瑞浪市教育委員会
恵那市教育委員会・中津川市教育委員会

近年少子化が進む中で、極端な放任・過保護・児童虐待に陥る親子関係や、いじめによる個人の尊厳・生命の軽視などの教育上憂慮すべき問題に対し、家庭・学校・地域社会の連携が一層強く求められています。

私たちはこのような教育の問題を根本から解決するために、感謝の心や生命を大切にする健全な家庭を築き、併せて公共に尽くすことで、社会の平和と安定に寄与することをめざすモラロジーの教育観の理解と普及を推進するため、毎年道徳教育研究会を開催しています。

先生方にはご多用の折とは存じますが、道徳教育の一層の充実のため奮ってご参加下さいますよう、謹んでご案内申し上げます。

日 時 令和 7 年 7 月 30 日（水）12:30 ～ 受付 13:00 開会

会 場 セラトピア土岐 3F 大会議室（土岐市土岐津町高山4番地）

*会場連絡先は 090-2773-0817（東濃協議会 加藤芳彦）

講 師 赤 堀 博 行 先生（帝京大学 教育学部初等教育学学科教授）

大久保 俊 輝 先生（公益財団法人モラロジー道徳教育財団
特任教授・学校教育支援センター長）

参 加 者 学校の先生をはじめ教育に関心のある方はどなたでも参加できます。

参 加 費 無 料

定 員 130名

申込方法 必要事項を最終ページの申込書に記入の上、7月10日(木)までにFAX又は
郵送で下記に申し込んで下さい（定員になり次第締め切らせて頂きます）。

申 込 先 岐阜県東濃モラロジー協議会(担当 加藤芳彦) 090-2773-0817

〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口 2474-2

Tel 0572-54-9381 Fax 0572-54-9376



日程

時間	内 容
12:30~13:00	受 付
13:00~13:20 (20分)	開会式 国歌斉唱 開会挨拶 岐阜県東濃モラロジー協議会 会長 加藤 芳彦 主催者挨拶 公益財団法人モラロジー道德教育財団 東海ブロック部長 関 光利 来賓挨拶
13:20~14:30 (70分)	第1講 「笑顔が笑顔に！ そんな学級の作り方」 大久保 俊 輝 先生
14:30~14:50 (20分)	休 憩
14:50~16:00 (70分)	第2講 「考え、議論する道德授業の 実現に向けて」 赤 堀 博 行 先生
16:00~16:25 (20分)	質疑応答 アンケート記入
16:25~16:30	閉会式 閉会挨拶 岐阜県教育者モラロジー研究会 東濃担当 小倉 博
16:30	終了

モラロジーって何ですか？

モラロジーとは、モラル（道德）とロジー（学）からなる学術名で、「道德科学」を意味します。一般に、道德は、行為の形式や方法が強調されがちです。モラロジーでは行為はもちろん大切にしますが、それ以上に行為の基になる心づかい（心の在り方・考え方）を重視しています。

道德の実行によって、日々の“心づかいと行い”を改善し、生きがいと喜びに満ちた人生を築き、一人ひとりが高い品性を培い、その心づかいが家庭や職場、社会、国家へ広まっていくことによって、真に心豊かで平和な世界の実現につながるものと考えています。

講師 プロフィール

赤堀 博行 先生

帝京大学 教育学部初等教育学科 教授

元文部科学省 初等中等教育局 教科調査官

元国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官

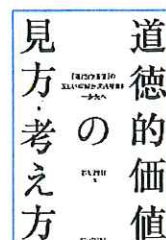
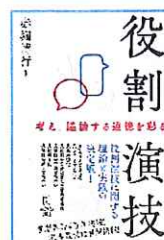
<著書>

『役割演技—考え、議論する道徳を彩る』

『道徳的価値の見方・考え方』

『道徳の評価で大切なこと』

『特別の教科道徳で大切なこと』（東洋館出版）



大久保 俊輝 先生

(公財) モラロジー道徳教育財団

特任教授・学校教育支援センター長

元麗澤大学 教授 / 教職センター長

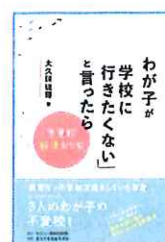
元関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第5 部会長

千葉県新任校長研修会統括講師

<著書>

『わが子が学校へ行きたくないと言ったら』（モラロジー道徳教育財団）

『辞めない社員の育て方』（時事通信社出版）



知徳一体の教育とは何ですか？

医療や情報、科学技術などの分野のように、知識が進めば進むほど、それらをいかすための高い道徳性が必要とされています。一方で、優しさ、勇気、愛情、正義感、責任感などの、一般によいとされる性質も、それを真に生かす知識がなければ、よい人間関係を育て、円満な社会を築くことはできません。

昭和38年に教育者研究会を始めたモラロジー研究所の廣池千英・第二代所長は、「教育とは、人間の心に仁愛の精神を植つけることである。この精神の上に現代の科学と知識と技術を習得してこそ、はじめて学問というものの光が出るのである」と述べています。

道徳教育研究会では、知識と道徳が一体となった学問、教育のあり方を探求します。

会場案内

セラトピア土岐（土岐市産業文化振興センター）土岐市土岐津町高山4番地

- 3F 大会議室
- * 会場連絡先は 090-2773-0817(東濃協議会 加藤芳彦)
 - * エレベーターか階段をご利用ください
 - * 2F のレストランは、当日は営業日にてご利用いただけます



このままFAXで送ってください

参加申込書

第 62 回道徳教育研究会東濃会場

申込日		令和 7 年	月	日
フリガナ	住 所			
氏名	〒			
	TEL(— —)			
学校名 (団体名)	職 名			
本研究会への参加状況	初参加 ・ 2 回目 ・ 3 回目以上			
講師への質問があれば (事前にお伝えします)				

* ご記入いただいた情報は、本会の目的の範囲内でのみ利用します。